

平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 コーアツ工業株式会社

上場取引所 東証二部・福証

コード番号 1743 URL <http://www.koatsuind.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 三郎

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西 成人 TEL (099) 229-8181

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績 (平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	6,793	27.2	362	356.1	374	258.0	345	-
28年9月期第3四半期	5,338	△ 9.9	79	△ 63.9	104	△ 54.6	28	△ 84.2

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 388百万円 (-%) 28年9月期第3四半期 △ 52百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整 後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	454.91	-
28年9月期第3四半期	36.95	-

※平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	10,799	6,284	58.2
28年9月期	9,740	5,934	60.9

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 6,284百万円 28年9月期 5,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	-	0 00	-	5 00	5 00
29年9月期	-	0 00	-		
29年9月期 (予想)				50 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年4月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しており、平成29年9月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年9月期の連結業績予想 (平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,958	15.7	98	185.5	95	61.8	55	-	73.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成29年9月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期3Q	760,000 株	28年9月期	760,000 株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	1,600 株	28年9月期	1,175 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期3Q	758,565 株	28年9月期3Q	758,825 株

（注）平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び業績予想について）

当社は、平成28年12月21日開催の第58回定時株主総会において、平成29年4月1日を効力発生日として、単元株式数の変更並びに株式併合について承認可決され、単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成29年9月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成29年9月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 5円00銭
2. 平成29年9月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 7円34銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府・日本銀行による財政・金融緩和政策の継続により、企業業績や雇用環境は回復基調で推移しているものの、中国をはじめとする新興国経済の低迷や米国新政権の動向及び北朝鮮問題等による影響など、依然として先行き不透明な状況であります。

建設業界におきましては、各種災害復興関連事業や既存インフラの補修・補強関連事業等は堅調に推移しているものの、引き続き受注物件の獲得競争や業界の慢性的な人手不足、労務費・資材購入費の高騰等も影響し、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）は当期経営基本方針として「挙社一致、挑戦意識と生産性向上意識で、最良の受注・最高の施工を実現する。」を掲げ、鋭意努力してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、67億93百万円と前年同四半期に比し14億54百万円（27.2%増）増収となりました。売上高の増加に伴い、経常利益は3億74百万円と前年同四半期に比し2億69百万円（258.0%増）増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億45百万円と前年同四半期に比し3億17百万円（1,130.7%増）増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

a. 建設事業

当第3四半期連結累計期間における建設事業の完成工事高は、55億22百万円（前年同四半期比28.9%増）となりました。完成工事高の増加により、営業利益は5億62百万円（前年同四半期比112.0%増）となりました。

b. コンクリート製品事業

当第3四半期連結累計期間におけるコンクリート製品事業の売上高は、10億58百万円（前年同四半期比23.4%増）となりました。売上高の増加により、営業利益は19百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

c. 不動産事業

当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は、62百万円（前年同四半期比5.3%増）となりましたが、修繕費の発生により、営業利益は13百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

d. 売電事業

当第3四半期連結累計期間における売電事業の売上高は、77百万円（前年同四半期比17.7%増）となりました。売上原価の低減により、営業利益は23百万円（前年同四半期比87.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は107億99百万円で、前連結会計年度末に比し10億58百万円増加しました。主な要因は現金預金が4億78百万円、有形固定資産が3億29百万円増加したことによるものであります。

負債は45億14百万円で、前連結会計年度末に比し7億9百万円増加しました。主な要因は支払手形・工事未払金等が7億94百万円増加したことによるものであります。

純資産は62億84百万円で、前連結会計年度末に比し3億49百万円増加しました。主な要因は利益剰余金が3億7百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の業績予想につきましては、平成28年11月11日に公表しました「平成28年9月期 決算短信」における業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（平成29年8月8日）公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	427,276	905,469
受取手形・完成工事未収入金等	1,478,533	1,582,229
販売用不動産	94,532	94,386
未成工事支出金	120,452	215,237
商品及び製品	124,806	134,843
仕掛品	4,286	4,819
材料貯蔵品	23,021	20,743
その他	144,548	147,733
流動資産合計	2,417,457	3,105,463
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,186,615	1,166,912
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	531,852	561,125
土地	4,165,759	4,188,254
リース資産(純額)	130,980	257,975
建設仮勘定	25,531	195,986
有形固定資産合計	6,040,738	6,370,253
無形固定資産	25,434	26,166
投資その他の資産		
投資有価証券	1,036,787	1,070,365
その他	482,464	489,558
貸倒引当金	△262,547	△262,513
投資その他の資産合計	1,256,704	1,297,410
固定資産合計	7,322,877	7,693,831
資産合計	9,740,335	10,799,295

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,374,435	2,168,902
短期借入金	203,000	2,000
1年内返済予定の長期借入金	355,344	355,344
未払法人税等	19,651	83,867
未成工事受入金	312,035	354,348
完成工事補償引当金	10,500	12,300
工事損失引当金	5,300	4,600
賞与引当金	53,747	114,585
災害損失引当金	20,210	3,780
その他	272,800	380,789
流動負債合計	2,627,026	3,480,518
固定負債		
長期借入金	915,365	648,857
退職給付に係る負債	49,158	45,356
その他	213,943	339,920
固定負債合計	1,178,466	1,034,134
負債合計	3,805,492	4,514,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,319,000	1,319,000
資本剰余金	1,278,500	1,278,500
利益剰余金	3,284,098	3,591,242
自己株式	△3,589	△4,695
株主資本合計	5,878,009	6,184,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,992	121,329
退職給付に係る調整累計額	△41,159	△20,734
その他の包括利益累計額合計	56,833	100,595
純資産合計	5,934,842	6,284,642
負債純資産合計	9,740,335	10,799,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,338,896	6,793,649
売上原価	4,631,283	5,803,014
売上総利益	707,613	990,635
販売費及び一般管理費	628,189	628,344
営業利益	79,424	362,290
営業外収益		
受取利息	170	94
受取配当金	7,728	7,320
受取賃貸料	5,978	7,490
受取保険金	20,065	9,792
その他	6,928	6,144
営業外収益合計	40,872	30,842
営業外費用		
支払利息	11,547	11,929
支払保証料	3,910	6,319
その他	263	457
営業外費用合計	15,721	18,706
経常利益	104,575	374,426
特別利益		
固定資産売却益	-	17,777
特別利益合計	-	17,777
特別損失		
固定資産売却損	-	1,600
固定資産除却損	500	10,239
災害による損失	21,722	6,304
災害損失引当金繰入額	39,429	1,200
特別損失合計	61,653	19,343
税金等調整前四半期純利益	42,922	372,860
法人税、住民税及び事業税	20,157	78,832
法人税等調整額	△5,274	△51,056
法人税等合計	14,883	27,775
四半期純利益	28,039	345,085
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,039	345,085

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	28,039	345,085
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93,816	23,336
退職給付に係る調整額	13,608	20,425
その他の包括利益合計	△80,208	43,762
四半期包括利益	△52,169	388,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△52,169	388,847
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産事業	売電事業	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	4,284,207	857,417	59,203	66,140	5,266,969	71,927	-	5,338,896
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	117,491	623	-	118,114	1,222	△119,336	-
計	4,284,207	974,908	59,827	66,140	5,385,084	73,149	△119,336	5,338,896
セグメント利益	265,448	18,945	14,040	12,339	310,774	9,958	△241,308	79,424

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおり
ます。

2. セグメント利益調整額△241,308千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産事業	売電事業	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	5,522,322	1,058,306	62,344	77,857	6,720,831	72,817	-	6,793,649
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	80,709	1,253	-	81,963	1,107	△83,070	-
計	5,522,322	1,139,016	63,598	77,857	6,802,794	73,925	△83,070	6,793,649
セグメント利益	562,809	19,587	13,973	23,164	619,535	14,129	△271,374	362,290

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおり
ます。
2. セグメント利益調整額△271,374千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。